

ナンバリング	B④07	科目名	音楽表現演習Ⅲ
担当形態	クラス分け・ 単独	担当教員	明石 現・大澤 ちづる・木村 記子・曾我 桂子・局和 美・福中 琴子・松井 直子
ディプロマポリシー との関連性	①, ②		
テキスト	ピアノコース:「バスティン おとなのピアノ教本 Book1」株式会社東音企画 ギターコース:「新ギター教本」ギタール社 共通テキスト:「こどものうた 100」チャイルド社 他に適宜、楽譜や資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1 単位・演習
到達目標	ピアノやギターによる伴奏を弾きながら「こどものうた」を豊かに表現し、保育で応用 する技術が身につく。具体的には、教育実習Ⅱ（幼稚園実習）に向けて「子どもの歌」 のレパートリーを増やすとともに、コードネームから簡易伴奏をつくる知識・技術の習 得を目指す。また、独奏曲の演奏を通して、それぞれの楽器の特性を生かした演奏 法が身につく。		
授業の概要	保育の内容を理解し、展開するために必要な保育の表現技術の一つである歌唱およ びピアノやギターを用いた弾き歌いの力量を高め、豊富なレパートリーをもとに応用 できることを目的として、少人数によるグループ授業を行なう。教育実習Ⅱでは「子ど もの歌」の弾き歌い伴奏が求められることが多く、この授業はそのための準備も兼ね ている。実習園の課題曲についても、個々に応じて指導する。一方で、表現技術の向 上、就職試験に備えて独奏曲の指導も行なう。		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション 保育における音楽の役割 第 2 回 季節の歌 第 3 回 行事の歌 第 4 回 生活の歌 日本のこどものうたの歴史 第 5 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い① 第 6 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い② 第 7 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い③ 第 8 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い④ 第 9 回 伴奏パターン 4 第 10 回 伴奏パターン 5 第 11 回 独奏協① 第 12 回 学生と教職員によるコンサートの参加と鑑賞 第 13 回 独奏曲② 第 14 回 独奏曲・リハーサル 第 15 回 まとめ・実技試験		
準備学習と必要時間	毎回 60 分の予習と復習時間を取り、レパートリーの蓄積をすること。		

評価方法	・課題曲の達成度・弾き歌いの実技試験 ―50% ・授業内の取り組み ―50%				
参考文献	「幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育」教育芸術社、 「こどものうた 200」チャイルド社、「続こどものうた 200」チャイルド社、 「保育者・教師をめざす人、集まれ！みんなピアノだい好き！」全音楽譜出版社、 「マンガでわかる楽譜入門」誠文堂新光社				
特記事項	・単位修得には 10 曲以上の弾き歌い曲の達成が必要となる。 継続的に練習を行なうこと。 ・免許・資格の取得を希望する場合、必ず履修すること。				
課題へのフィードバック方法	発表に対しては、適宜コメントをする。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	選択	保育の内容・方法に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					